

みつくら

令和 2年10月15日 第324号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

例年通りにラジオ体操会を開催

毎年8月13日に開催している「ラジオ体操会」はコロナ禍の今年、45人が参加して大瀬川運動公園で行なわれた。この体操会は大瀬川体育協会（熊谷俊哉会長）が主催し、大瀬川子供育成会（菅原一禎会長）の協力で行われている。当日の朝、6時30分のNHKのラジオ体操に合わせて、各区の子供会は運動公園に来る途中で道路のゴミを拾いながら会場に集合。青空の下、気温も20℃位で10分間、グラウンド全体を使用して体を動かした。参加した子供たちにはその後子供育成会から飲み物が配られ、みな楽しそうに帰途に就いた。この体操会が大瀬川体協としては今年最初の事業となった。

文化祭は展示部門のみとなる

11月7日、8日に開催予定の今年度の大瀬川地区文化祭は、新型コロナ禍の影響でステージ発表部門が中止となり、振興センター内の展示部門のみとなることが決定した。また、8日には大瀬川体育協会（熊谷俊哉会長）主催の「地区民軽スポーツ大会」が開催される予定となっている。今回は、三密を防ぎながら親子でやれる種目を考えており、多くの参加を期待している。「IMOらぼ」で収穫したサツマイモの試食も計画されている。

やまなし園の実で各校で授業

今年のやまなしは、天候の為か実の数が少なく、金鑄神社の2本のやまなしは殆ど実が成らず、やまなし園では例年の半であった。そんな年ではあったが、板垣聡美（板垣床屋家）先生が勤務する杉並第三小学校と、同先生の前任地である永福小学校（何れも東京都杉並区）に板垣弘清さんが合わせて220ヶを送り、10月の授業に使われた。同じく千葉範子先生が勤務する永井小学校（一関市）にも、お父さんの高橋久（好地上和町）さんが30ヶを送り、こちらも授業に使って頂いた。やまなし研究家の中屋重正氏は、全国の7割に当たる小学

校6年生の教科書には、宮澤賢治の「やまなし」が載っていて、約75万人が学んでいると話している。

今回は紙芝居を鑑賞

たんぼぼの会（熊谷幸子代表）では、9月23日に11名が参加して民話クラブの紙芝居の中から5話を聴いた。この日の読み手は菅原千恵子さん、めくり方は菅原ヤエ子さんと熊谷るりさんが担当した。また、地域包括センターから藤田さんと高橋さんに来て頂いて、「悩みや心配ごとはありませんか、いつでも気軽に相談に来て下さい」と笑顔で話して頂いた。

「ふれあいサロン」 交通安全で一喜一憂

あじさいの会（板垣福子会長）では、今年初めてのサロンを9月10日に大瀬川振興センターで23人が参加して開催した。今回は「高齢者の交通安全」をテーマに花巻市交通安全指導員4名を招いて行われた。最初に、信号の色並び当てで青・黄・赤の色を参加者がパネルに張ったり、左右の絵を見て間違い探しをするクイズを行い、人間の視線は左から右に動くことや、上から下へと移動する事を教えて頂いた。また、これから日暮れが早くなるので反射材を使用して明るい服装を心がける事や、余裕を持って道路の横断をする事など、テンポの良い寸劇が楽しく演じられた。また、花巻市の交通安全専任の方が県内に2台しかない「クイックアーム」を持参した。この機械は、年齢に合わせた反射神経を測る機械で、年齢を入力すると右・左のボタンが2個同時に光り、これを同時に叩く事で反射神経の年齢が表示されるもので、表示年齢を見ては年相応の人、実年齢より高い人、実年齢より低い人など一喜一憂した。中には実年齢より30歳も若い人もあり、久しぶりに楽しい時間を過ごした。

各神社の例大祭が縮小となる

9月12日は山祇神社例大祭の日だが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため神社庁からも三密を避けるよう指導もあり、前日の宵宮祭や当日の神輿渡御・直会が自粛となった。当日の朝に境内の掃除や旗上げを行い、午後2時から天満宮、3時には山祇神社に移動し、直町宮司と責任役員・総代が大瀬川神楽による神事を行った。また、各区の子供神輿運行も平成9年の山火事以来の運行休止となり静かな夜となった。9月20日に行われた黒森山神社例大祭も、朝に境内の掃除や草刈りを行い、午後3時からは直町宮司の祝詞で責任役員のみ神事となった。

今年の作況指数が発表

東北農政局では、9月30日に東北のコメ作況「103」の「やや良」と発表した。

表彰（敬称略）

第73回岩手芸術祭 写真部門入選 板垣 弘清

明るくなりました

昭和62年9月に東北自動車道が開通してから、今回初めて法面の木々が伐採され明るく綺麗になった。場所は、辻村吏さん付近で、道路東側法面は辻村吏さんボックスより北側部分、西側法面は辻村吏さんボックスより南側畠山義勝さんボックス間が行われた。この区間は、木々やツタなどの落ち葉が道路や側溝に入り、排水の妨げとなっていた。今後もこの事業が施行されることを願っている。

ヨーカ堂の移動販売が軽トラに

イトーヨーカ堂の移動販売は10月から、今までの中型マイクロバス型から、軽トラの販売に変わった。これは、経費を削減し移動販売の存続を目的としたもの。大瀬川地区のイトーヨーカ堂移動販売車「あんしんお届け便」は、平成25年12月12日から始まり、現在は毎週火曜日に9区自治公民館、大瀬川振興センター、千鳥苑を巡回しては、特に移動手段の限られるお年寄りに感謝されている。イトーヨーカ堂では、大瀬川地区の他に花巻市天下田地区、花巻市矢沢地区、東和町浮田地区、東和町田瀬地区の5集落で移動販売をおこなっている。

手芸クラブが「クール日除け」作り

大瀬川手芸クラブ（菅原重子代表）では、9月13日に大瀬川振興センターで6人が参加して「クール日除け」を作った。この「クール日除け」は、炎天下での農作業などで熱中症の予防にもなるように、顔周りや首筋を囲うもので、手拭いを素材にしている。講師の菅原房子さんから教わった熊谷レイ子さんは「この日除けは作り方が簡単で、被って農作業をしたが、首から顔までが涼しく感じられたよ」と語っていた。

仁昌寺苑長から千鳥苑の講話

みつくら10月1日号にも写真などを掲載したが、くずまる大学第1回講座は大瀬川振興センターで、千鳥苑の仁昌寺智明苑長から17名が施設について講話をお聞きした。今年のくずまる大学は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催を見合わせていたが、この日は今年度の開校式も兼ねて行われた。講話では、平成6年に開所したケアハウス千鳥苑は、平成27年から介護サービス付きとなり、その時に入浴施設なども改装して住みやすくなっているとの事。入所者の部屋は13畳で、押し入れや調理場とトイレ付きとなっている。現在、千鳥温泉の湯温は38℃で少し加温をしている。また、今まで、元気でまっせ体操は、くずまる元気クラブとあじさいの会、それにたんぼぼの会の3団体で行っていると思っていたが、千鳥苑でも早くから実施しているという。現在、ケアハウス千鳥苑の入所者平均年齢は85.7で、他に認知症の方々も利用出来るグループホーム千鳥苑についても講話を頂いた。

みつくら

令和 2年10月15日 第324号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

大瀬川敬老事業こぼれ話

今年の花巻市敬老祭はコロナ禍で多くの参加者が集まっていたが中止になってしまった。大瀬川地区でも例年の様な形式での開催は出来ないため実行委員会で検討した結果、やはり米寿や喜寿の節目の方々には何かしらのお祝いをしたいと考え、個人写真・集合写真の撮影と記念品を贈るミニセレモニーを計画した。

また、一堂に会することができない代わりに、対象者全員には「お薬手帳ケース」を贈ることにした。診察券と健康保険証とお薬手帳が入る明るい和風柄で、病院に行く際に少しでも気分が晴れやかになるようにと選んだもの。民生委員を通じて大瀬川地区敬老のしおりと一緒に届けられた。

9月16日、規模を縮小した「大瀬川地区敬老を祝う会」とし、平日のためタクシーでの送迎も行った。今年敬老対象者は153名で、米寿11名のうち7名、喜寿6名のうち5名が参加された。玄関には手作りのウェルカムボードでお出迎えをし、贈呈式後の集合写真撮影では手前に綺麗なフラワーアレンジメントを置いて、撮影後に参加された方ひとりひとりに手渡され大変喜ばれた。

小屋場分水工の土砂の浚渫が行われる

去る9月30日に山王海土地改良区では小屋場分水工の土砂を浚渫(しゅんせつ)した。この分水工はここから、越田堰、葉師堂川、北寺堰に分かれる所のため、溜まった土砂を浚(さら)うもので畠山義弘水路監視員が監視しており、定期的に行っている。

三世代でサツマイモ掘り

世代間交流「IMORAほ」のサツマイモ掘りは、10月4日に大瀬川子供育成会の親子やくずまる大学の関係者など45名が参加して行われた。今年サツマイモは、昨年より収量はやや少なかったが、元気な児童達の手で次々と掘り起こしていた。昨年は、子供達と収穫を楽しもうと、関係者が焼き芋の練習をしたが学校で流行性胃腸炎が流行ったために、

焼き芋は急遽中止の憂き目にあった。今年は新型コロナウイルスだが万全を期しながら焼き芋を実施したいと話合っている。

コロナ禍による各区の今は

今年の2月にクルーズ船での新型コロナによる感染症発症が確認されてから、10月8日現在の日本の感染者は88,267名で岩手県の感染者は24名と岩手県のホームページに記載されている。しかしながら、無症状の保菌者がいる可能性もあり花巻市では三密を避け、消毒液の利用を指導して「集会」「イベント」「宴会」の自主規制を提唱している。そのため、当地域でも総会等の会議はほぼ書面議決になり、各団体の事業自体も自粛となっている。では、各区の自治公民館や農家組合はどう活動しているのか伺ってみた。

自治公民館関係は、

○7区自治公民館では、区民の交流の場となっている毎年8月の「ふれあい広場」は中止となり、今後の事業である「新年会」や「ミズキ団子を飾る会」の開催も現在検討中。

その中で、大瀬川活性化会議と第7区農家組合から援助を頂いて、折畳み(ワンタッチ)テーブル12台と折畳み椅子20脚と網戸を購入した。今までの座卓テーブル利用から見れば、会合準備も楽になるし、年配者も膝を折ることがなくなるので公民館での会合が一段と楽に行われる。

○8区では、総会以外に各班で春の「観桜会と年祝い」そして秋の「収穫感謝祭」を行っているが、今年は春の「観桜会と年祝い」がコロナ禍で各班とも中止となったため、秋の「収穫感謝祭」で「年祝い」も行う予定だったが、飲食を含む会合は時期尚早と判断し、各班とも中止の決定となり、来年度の各種役員は書面連絡確認となる模様

○9区自治公民館では、総会の他にも「さなぶり」「収穫感謝祭」があり区民の交流の場となっているが、今年は「さなぶり」「収穫感謝祭」は中止となり、役員会で「新年交賀会」と公民館新築時に揃えた中古の折畳みテーブルの更新が検討され活性化会議と農家組合の補助でテーブルを更新した。

また、各班で11月に行われている班長主催の来年度各種役員を選出を行ってからの班祝は、今年は各班とも役員を選出のみとなる見込み。

農家組合関係は、

○7区農家組合では研修会を中止としたため、その予算を公民館の備品購入の一部援助とした。この措置は、花巻農協のコロナ禍での今年度特例措置として備品購入が認められたことによる対応。また、昨年に復活した収穫感謝祭が今年度は中止

○8区農家組合では、研修旅行に代わり大瀬川振興センターでの三密を避けた2時間程度の講演会を計画している。

○9区農家組合では、役員会を開催して研修旅行を中止とした今後の活動計画の打合せを行う予定。

現在、国では経済活動の活発化に向けたGOTOキャンペーンを推進し各種割引で国内移動を提唱しているが、一方で感染の拡大も懸念される。

大瀬川の消火栓は

今年も11月末までに、大瀬川地内の消火栓の点検が行われる予定となっている。この点検は毎年、消防署の管轄ではなく、岩手中部水道企業団が業者に発注し、実際に消火栓を開け、放水時に異常がないかや圧力測定なども含んで行っている。

現在、大瀬川活性化会議が平成22年に全戸配布した「大瀬川防災マップ」には、21ヶ所の消火栓の位置が記されているが、大瀬川歴史クラブで調査した結果、実際には29ヶ所であった。平成9年の大瀬川山林大火時には、「消火栓はどこ!!!」と聞かれても直ぐには答えられなかった記憶があるので、普段から何処にあるのか周知の意味を含め大瀬川地内の消火栓のある場所を記載してみる。

消火栓は上水道が完成した昭和56年8月6日に供用開始後の設置場所(実際の設置場所の番地ではなく、近くの民家の番地を表示)。表示番号 セ1場所大瀬川1-113-3(助作竈家前) セ2大瀬川4-22(治郎兵衛竈家西の十字路で市道林線東北自動車道西) セ3大瀬川7-22(弥惣助家前) セ4大瀬川7-86(尾平・大地渡りの竈家西南) セ6大瀬川12-1076(金助竈家付近) セ7大瀬川12-655(熊谷賢良宅西) セ8大瀬川12-500(石森農場南100m) セ9大瀬川12-39-2(菅原正勝宅東) セ10大瀬川12-6(菅原洋二宅北) セ11大瀬川10-30(甘木家北側の上堰脇) セ12大瀬川10-40(清五郎家東) セ13大瀬川9-17(県道盛岡和賀線の札立場家入り口) セ14大瀬川9-55-1(熊谷豊宅北) セ15大瀬川15-38(喜左衛門家東・防火水槽の西向) セ16大瀬川17-63(古場家南側の道路十字路) セ17大瀬川14-1(畑家・通称長助竈家南側) セ18大瀬川14-49-2(9区馬墓地の南側) セ19大瀬川19-40(宇南木家の東で9区自治公民館入り口T字路) セ20大瀬川16-54-3(久太夫家の東60mの十字路) セ21大瀬川19-52(畠松家・煎餅屋倉庫西) セ22大瀬川16-99-2(旧茶畑竈勝治家・現福島吉隆宅50m東の南北道路脇) セ74大瀬川2-50(小葉師家南) セ75大瀬川3-13(坂ノ上家東十字路。新一の留橋脇) セ76大瀬川1-320(尾平の大地渡ノ竈家南西) セ78大瀬川19-46(惣助家南脇) セ81大瀬川17-55(松木家北側の道路十字路) セ82大瀬川10-139(六孟家の南道路脇) セ84大瀬川7-74(旧森子家入り口から東15m道路脇)となっている。セ88大瀬川20-90-1(天神家前)。以上29ヶ所となっている。

普段何気なく通っている道路の脇にある消火栓だが、皆さんはどの位知っているだろうか。

今後、基盤整備事業が進み用水路が堰からパイプラインに変更すると、火災時の防火用水としてこの消火栓だけが頼りになるので、増設を含めた地域での検討が必要となる。